

令和 2 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立菊川小学校
校長名	柿沼 広美

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<p>① 各教科の目標値を第 4 学年の算数と第 5 学年の理科以外全ての学年及び教科で達成することができた。</p> <p>② 全国の平均正答率も第 4 学年の算数と第 5 学年の理科以外の全ての学年及び教科で上回る結果となった。</p> <p>③ 今年度第 6 学年理科が区の平均を 5 ポイント以上上回る結果となった。昨年度 5 年生の時には 5.7 ポイント下回っていたが、既習事項の解説や区の推進する振り返りシートの活用を行った成果である。</p>	<p>① 昨年度課題の「低学年の正答率の向上」は第 2 学年・第 3 学年共に目標値は達成しているものの、区の平均を超えることはできていない。今後は放課後補習教室や宿題の出し方を工夫して対応していく。</p> <p>② 5 年生の算数・理科の活用問題において表現力のポイントが算数は 11 ポイント下回る結果となり、理科は 6 ポイント下回る結果となった。基礎問題の数値は目標値を上回っていることから、基礎的な知識・技能を用いて取り組む発展的問題にも挑戦していくよう指導押していく必要があると考える。</p>

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・第 4 学年において「テストで間違えた問題は、あとで見直していますか」という質問では「いつも見直している」が全国平均を 5 ポイント上回っている。テストを受けた後に繰り返し復習する習慣が身に付いてきている。・第 6 学年において「ノートを取り方について、自分なりの工夫をしていますか」という質問では、「工夫している」と回答している児童が全国平均を 7.7 ポイント上回っている。教師の板書だけではなく、自分で工夫してノートを作成していることが分かる。昨年度の課題であったノート指導について、学校として統一した指導を行った結果、成果に表れている。	<ul style="list-style-type: none">・第 3・4 学年において「家で授業の予習や、復習をしていますか」という質問では、「だいたいしている」と「ほとんどしない」に二極化している。学力向上委員会を中心に家庭学習の基準や内容、方法を検討し、実態を把握する必要がある。・第 5 学年において「分からない言葉が出てきたときは、辞典などを引いて調べていますか」という質問では、「学校でも家でも調べている」が全国平均を 6.8 ポイント下回っている。分からないことをそのままにしている実態がある。全学年で辞書などを活用し調べる機会を授業の中で意図的に設定する必要がある。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・コロナ対策を行いながらの日々であったが、教員が連携し、皆同じ「学力調査だけの学習がしない。」と指導方針をもって指導できた。・学力調査を通して、日々の授業改善につなげることができた。(系統性や既習事項の活用など。)	<ul style="list-style-type: none">・読書をする習慣を身につけさせる必要があるため、図書館司書・図書ボランティアとの連携を積極的に実施する。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 朝学習での基礎基本の徹底

週2回朝学習の時間を設定、担任が指導している。国語と算数の復習プリントを10分間取り組ませている。振り返りシートを使用し丸付けと解説まで行っている。定着が不十分な内容は反復して行っている。

(2) 校内研修の充実

児童の自己肯定感や自己有能感を高めるため、「リーダーインミー」の取り組みを夏季休業中に教員が研修し、9月から指導している。①自分で考えて行動する②ゴールを決めてから始める③大事なことから今すぐに④自分も相手もみんながハッピー⑤わかってあげてからわかってもらう⑥力をあわせる⑦自分をみがくバランスが大事、を合い言葉に、児童が自ら学びに向かうように共通した指導、教育活動を展開している。

(3) コロナ渦に対応した授業

昨年度の校内研究を通し、ノート指導の大切さを共通理解している。学年で共通したノート指導を行い児童の「書く力」も高まってきている。今年度是对話的な指導展開が難しいため、付箋やICT機器を利用した交流を全学年で創意工夫して児童の学習意欲や表現力の充実を促している。

3 「令和3年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・全学年全教科で全国の平均正答率を上回る結果を出す。
- ・区学力調査と平行し、全国学力調査・都学力調査において今年度の課題を分析し、弱点となっている領域を校内で共有し重点指導する。
- ・学力調査の対策だけでなく、日々の授業の改善に全教員で取り組む。学力がつく授業について教員間でコミュニケーションを図りながら追究し、児童の学力向上を引き続き推進していく。